

令和4年 12月16日 (金)

あさひの日だまり

NO.30

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～寒くなりました～

水たまりには氷が張っています

15日(木)の朝は冷え込みました。この冬一番の冷え込みのように感じました。朝の昇降口で「先生 氷、見に行こ！」と手を引かれ連れていかれそうになりました。その手のなんと冷たいことか。きつとどこかの水たまりで氷を触ってきたに違いありません。「先生こんな冷たい手になっちゃうの嫌だよ～」と言って逃げました。「せっかく誘ってくれたのにごめんなさい」と心の中でつぶやきました。

子どもって好奇心にあふれているんですね。何人ものたくさんの子どもたちが手に氷をもって登校してきました。みんな「ほら見て」と氷を見せてくれます。大きな氷を抱えてくる児童もいます。たなごころに入りそうなかけらはきつと長い間手の中に入っていたのでしょう、角が取れて滑らかな形になっています。一人の女の子が、昇降口前で割れている氷を大切に袋に詰めていました。「きれいだから集めているの？」と尋ねると「宝石みたい」と返してくれました。子どもたちの姿に接していると、なんだか氷の塊をむげに割ってしまうことがいけないことのようにさえ感じられました。

私たちは、雪が降れば「雪かきが厄介だよな」とか、「車の運転心配だな」などと考え、どうしても冬が好き。とは言にくいのですが、子どもたちにとっては本当に魅力にあふれた冬が来ます。子どもたちからエネルギーをもらいながら、私たち職員も後わずかの2学期、頑張りたいと思います。

～お餅をいただきながら感謝の会が開かれました～

お世話になった方に感謝です

14日(水)に、もち米作りのご指導と協力をいただいた地域の皆様をお迎えして、5年生が、感謝の会を開きました。5年生のお便りには「1年間かけて取り組んできたお米作り。お米づくりを通して、大変なことや手間がかかっても、計画・実行し、成長できた子どもたち。この頑張った経験をこれからの生活にも生かしていけたらと思います」と書かれていました。子どもたちの感想も載っていて「みんなが一生懸命準備して、会場係の人は折り紙でリングを飾ったり、進行係の人は原稿を作ったり本番に向けて練習したりしていたので、すごいなと思いました」と書かれていました。今回の感謝の会が、子どもたちが自分たちで考えて行動する機会となったことがとてもうれしいです。そして、こんな素敵な機会を上手に作って下さった5年の先生方にも感謝です。そして何よりも、その土台になる、お米づくりの機会を与えて下さった地域の方に心から感謝の思いがしています。本当にありがとうございました。

私も少しでも感謝の会に関わらせてもらえればと思い、お餅を作って下さる町内の業者様にお願いして、お米を蒸し上げるところから、口に入る形になるまでの行程を、間近でビデオに収めさせていただきました。朝早くから何百個ものお餅を準備して下さっていました。一つ一つ大切に手の中で丸く形を整えて下さる様子に、普段「商品」として見ていたものが、かけがえのない心のこもった手作り品として目に映るようになりました。

学校へ届いた、あんころ餅を一ついただきました。当日ご来校いただいたお米づくりに関わって下さった皆さんの思い、手作りでお餅を作って下さった業者の方の思い、成長していく稲の様子をずっと見守ってきた子供たちの思い、そして子供とともにお米づくりに携わってきた先生方の思いがこもったお餅だと思うと、口にした瞬間に確かに柔らかな温かさを感じました。「いただきます」とはこういうことかと心の底から思いました。

～校内でも感染が拡大傾向です～

色々にご迷惑をおかけします

金曜日は6年生を全員早退させました。学年内での感染をできる限り防ごうと考えての対応です。お迎え誠にありがとうございました。他の学年にも、感染している児童が数名います。それぞれのケースに対応して精一杯感染防止対策をとってまいります。いろいろにご迷惑をおかけすると思いますがご協力よろしくお願いいたします。

～6年生が受けた学力学習状況調査を振り返ってみました～

6年生が受けた学力学習状況調査の結果をまとめてみました。保護者の皆様あてにお便りを作りましたので掲載します。ご覧いただけたらと思います。

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について

1 国語・算数・理科の問題について

(1) 調査結果

- 【国語】 わずかに全国平均と県平均を下回っていますがほぼ同じ点数です。「言葉の特徴や使い方に關する事項」「書くこと」「読むこと」が全国平均と県平均からやや下回りました。
- 【算数】 全国平均と県平均を上回っています。特に考え方を答える「記述式」の問題に対する正解率が高かったです。
- 【理科】 全国平均と県平均をやや下回りました。自分で実験結果について考えたり、問題解決の道筋を自分なりに考え「記述式」で回答したりする問題に課題が見られました。

(2) 今後の授業における配慮点

<国語>

- ・毎日の漢字練習を「熟語や文としての文脈で漢字を学ぶ」を大事にして練習するようにします。
- ・日記のやり取りを通して、接続語などの文章表現を意識して使えるようにします。また、時系列で事実を羅列するだけでなく、自分の経験や思いなどを表現できるように指導します。
- ・感想や要旨などを「序論・本論・結論」の構成を考えて100字以内など決まった字数内で書くことができるようにします。

<算数>

- ・ただ単に答えを求めるだけではなく、考え方を記述することを大切にしてきました。引き続き、具体物を用いながら立式の理由を筋道を立てて言葉で説明できるようにしていきます。
- ・家庭学習において、基礎の計算練習と現在の学習内容の復習、式の意味や立式の理由を書く問題にバランスよく取り組めるようにしていきます。

<理科>

- ・観察、実験の結果の具体的な数値からわかることを文章で記述し、互いにやり取りする中で、よりの確かな分析ができるように配慮していきます。
- ・問題解決を通して得られた知識を使って、日常生活との関わりの中で捉え直す場面を設定します。実験結果と日常生活が関連付けられるような場面を児童の生活の中に見出していきます。

2 生活質問紙調査から

おおむねどの項目を見ても、子どもたちが前向きに物事に取り組み、自分の姿を肯定的に受け止めている様子が見られます。特に本校の児童の良い点が次のような設問に見られました。

- ・自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか。
- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。
- ・新聞を読んでいますか。
- ・今住んでいる地域の行事に参加していますか。
- ・授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいましたか。
一方課題が見られたのは次のような設問に対してでした。
- ・読書は好きですか。
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。
- ・5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。

この結果を受けて、今後は、自分の考えを伝えるペア学習やグループ学習の機会を増やしていくことの必要性を感じました。特にグループ学習では、立場や根拠を明確にして話し合いをするなど、話し合いのルールを明確に示してあげられるよう配慮していきます。

また、新しい価値観との出会いの場としての読書、多様な学びを保証するICT機器の利用はこれからの社会を子どもたちが自らの力で生き抜いていくには必須です。職員による読み聞かせの時間の設定、授業におけるICT機器の利用を学校を上げて取り組んでまいります。